

保護者様

横浜市立矢向小学校
校長 沼田 留美子

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

本年度実施した、全国学力・学習状況調査（小学校6年生・中学校3年生対象）の結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取り組みについてご説明させていただきます。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの資質・能力を育成することに引き続き取り組んでまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をさせていただきますよう、お願いいたします。

(1) 教科学習状況調査結果「平均正答率」

	国語	算数	理科
矢向小学校	69%	67%	66%
横浜市	66%	66%	65%
神奈川県	65%	64%	63%
全国	65.6%	63.2%	63.3%

<全国の平均正答率との比較>

	全国を上回った、主な問題 【評価の観点】・出題の趣旨	課題のある問題 【評価の観点】・出題の趣旨
国語	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の違いを理解する。 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。 【思考・判断・表現】 ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。 ・表現の効果を考える。	【知識・技能】 ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く。 【思考・判断・表現】 ・人物像や物語の全体像を具体的に想像する。
算数	【知識・技能】 ・二つの数の最小公倍数を求めることができる。 ・百分率で表された割合を分数で表すことができる。 ・百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。 ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの情報を捉え考察できる。 ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。	【知識・技能】 ・被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすること。 【思考・判断・表現】 ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。 ・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる。
理科	【知識・技能】 ・問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している。 ・昆虫の体のつくりを理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。 ・自分で発想した実験の方法と、追加された情報	【知識・技能】 ・水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。 ・実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。

	<p>を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。 ・自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。 ・予想が確かめられた場合に得られる情報を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。 	
--	---	--

【教科学習状況調査結果の考察】

「国語」「算数」「理科」いずれも全国、神奈川県、横浜市の平均正答率を上回る結果となりました。問題形式別の正答率を見ると、「選択式」「短答式」の正答率が「全国」「神奈川県」の平均よりも高く、「記述式」は「全国」「神奈川県」と同程度となっています。今後は、より一層「記述式」の正答率が高まるような学習をしていく必要があります。さらに、教科別で見ると、国語は知識及び技能（特に漢字を正しく使ったり、書いたりすること）、算数は思考力・判断力・表現力等において、身に付けたい資質・能力の育成をさらに充実していけるとよいことが分かりました。理科においては、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等のバランスが全国と比べて同程度上回っているため、今後もバランスよく育てていきたいです。

(2) 質問紙調査結果

＜全国平均との比較＞ ※数字はいずれも、「とても当てはまる」を選択した児童の割合 ※（ ）内は、全国平均の割合

【全国平均を上回った主な質問】

- 読書は好きですか。…46.3% (41.9%)
- 地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがありますか。…23.2% (17.6%)
- 国語の勉強は好きですか。…35.4% (23.4%)
- 国語の授業の内容はよく分かりますか。…53.7% (39.5%)
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。…53.0% (43.8%)
- 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。…24.4% (13.1%)

【全国平均を下回った主な質問】

- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。…33.5% (38.8%)
- 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。…24.4% (27.6%)

【質問紙調査結果の考察】

3教科、それぞれの「勉強は好きですか。」「勉強は大切だと思いますか。」「授業の内容はよく分かりますか。」に対する「とても当てはまる」の回答率が共通して全国平均を上回りました。授業の理解に加え、学ぶことの大切さを実感している児童が多くいることが分かります。また、地域や社会とのかかわりについて自分にできることを考えている児童も多くいることが分かりました。これらの結果から、児童に「まちの一員」という自覚が高まっていることが分かります。近年、本校において生活科及び総合的な学習の時間を中心に重点研究を行い、地域や社会との関わりを大切にしてきた学習の成果だと考えられます。

一方で、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。」という質問では、肯定的に回答している児童が全国平均を下回る結果となりました。本校で育てる資質・能力「主体的に行動する子」や本校重点研究主題「主体的に学ぶ子の育成」により近づくため、粘り強く取り組んだり、失敗を恐れずチャレンジ精神をもって学習や活動へ意欲的に取り組んだりする力を、今後も継続して育成していく必要があります。

(3) 学力向上に向けた今後の取り組み

- ・児童が必要感をもって基礎的な知識及び技能を正しく身に付けられる授業づくりを継続します。
- ・考えを伝え合う対話的な学びの場面を設定し、思考を深めたり、判断したり、表現したりする力を育てます。
- ・自分たちで課題や問題を見つけて解決する、問題解決的な学習を多く取り入れ、見通しをもって粘り強く学ぶことのよさが実感できるよう、授業改善に取り組みます。
- ・挑戦する仲間を応援したり、途中でうまくいかなくても励まし合ったりしながら、課題解決に向かう子を育てます。